

読 上 げ 算 とは …



人が読んでいく数字を足したり引いたりしながら答えを求めていく計算のこと。

通常のレッスンではテキストに書かれている数字を目でとらえてアタマにインプットしますが、読み上げ算の場合は耳から数字を入れていきますので、もしも聞き逃したとしてもやり直しが効きません。それだけに一層の集中力が必要とされます。

下にあるのは今回の競技会(5~6年生向け)の読み上げ算の問題。例えば、あんざんの4番の場合は、「願いましては~8円なり、97円なり、引いて5円なり、20円なり、加えて4円では?」と読まれます。ちなみに、願いましては~…とは「これから計算をお願いしますが、それは~」という意味らしいです。

もちろん、読まれるスピードによって難易度は大きく左右されます。今回の競技大会では問題のレベルを初心者用に易しく設定し、そしてゆっくり読上げましたので、多くの生徒が高得点をゲットすることができました。最高得点は5年生の河津美音さんと種井来翔くん(二人とも5年生)の17点(20点満点)。

1	2	3	4	5
5	9	42	8	67
7	-5	7	97	35
8	6	90	-5	71
6	4	1	-20	28
4	-2	9	4	64
30	12	149	84	265

6	7	8	9	10
40	80	902	185	763
66	316	47	607	195
-71	165	-713	948	-376
-28	77	275	264	414
94	98	39	576	-809
101	736	550	2,580	187

あんざん



慣れていない生徒は、つい「あっ、センセー、ちょっと待って! もう一回」と口に出してしまいますが、それはNGです。

耳に全神経を傾けて集中、集中、そして集中!

そろばん



1	2	3	4	5
96	79	26	93	45
50	-16	51	-52	229
48	52	90	90	16
81	-30	45	-86	467
23	61	70	68	75
298	146	13	25	608
		69	17	850
		88	-30	81
		452	125	2,371



冬の東三競技会では、ケタ数は増えるし、読まれるスピードは相当に速くなりますので、全体的にグ~んと難しくなります。

参加する人は11月に入ったら練習をスタートしていきますので、ガンバっていきましょうね~。

6	7	8	9	10
402	718	205	2783	53,246
-67	592	740	650	75,801
916	837	961	94	7,139
93	480	147	1912	10,728
245	903	-576	49	81,625
79	151	329	56	28,497
201	424	-852	5807	4,913
-84	661	-938	31	30,968
1,785	4,766	16	11,382	292,917